

商品ラベルを自由に作成する

WebかんたんWMSには、商品ラベルを印刷することができる「JANコードを印刷(ここから印刷)」ボタンがあります。ここで印刷できるラベルのレイアウトは、品番、属性1名、属性2名、バーコードと予め決められた項目のみとなります。もし、もっと自由に商品ラベルを印刷したい場合は、各ラベルシールメーカーから提供されているラベル印刷ソフトをお使い頂くことで作成を行って頂けます。

ここでは、A-ONEさん提供のラベル屋さん9を使った作成方法をご紹介します。

1, まず何面のラベルに印字するかをA-ONEホームページより検索をし、品番を調べます。(<https://www.a-one.co.jp/product/>)

ホームページの上部にある「クイック検索」に「44面」などを入力し検索しますと対象ラベルシールが一覧で表示します。


該当するラベルシールがありましたら、品番をコピーします。

2, ラベル屋さん.comへアクセスします。(<http://www.labelyasan.com/>)

3, 画面中ほどにあります  ボタンを押します。

※Web版で説明しますが、ダウンロード版でもご利用可能です。

4, ラベル屋さん9のホーム画面が表示します。

5, 1でコピーした品番をラベル屋さん9ホーム画面の検索枠に貼付けし  をクリックします。

6, 次に表示された画面で対象のラベルシールであるかを確認後「決定」ボタンを押して下さい。

7, テンプレートの選択小画面が表示されましたら使用しないため「キャンセル」で閉じて下さい。

以後のラベル作成方法は、下記ラベル屋さん9マニュアルをご参考にすすめてください。

http://www.labelyasan.com/support/manual/insertion/?_ga=2.2583600.1642233467.1522831842-1685714688.1522831842

ラベル屋さん9へ取り込むCSVデータのダウンロード方法は、

次ページ:「WebかんたんWMSから取り込み用CSVデータをダウンロードするには」をご参考下さい。

WebかんたんWMSから取り込み用CSVデータをダウンロードするには

Step1: ダウンロードフォーマットをCSV定義で作成します。

管理機能→CSV定義

CSV定義: 新規登録

フォーマット種類: 入荷商品タグCSV発行:ダウンロード

登録 ダウンロード

選択可CSV定義

選択可CSV定義	選択されたCSV定義
荷主コード	品番
区分1名	属性1名
区分2名	属性2名
区分3名	バーコード
数量	属性2コード

WebかんたんWMSのCSV定義の確認方法と作成方法

・WebかんたんWMS画面上的メインメニューから

管理機能 → CSV定義 → 入荷商品タグCSV発行:ダウンロード
を選択します。

※右の「選択されたCSV定義」がダウンロード項目となります。

Step2: 入荷伝票を選択して商品ラベル印刷用CSVデータをダウンロードします。

入荷伝票検索

<input type="checkbox"/>	倉庫	伝票番号	元伝票番号	入荷区分
<input checked="" type="checkbox"/>	物流センター	1000106	1111	入荷
<input checked="" type="checkbox"/>	物流センター	1000102		入荷
<input checked="" type="checkbox"/>	物流センター	1000095		入荷
<input type="checkbox"/>	物流センター	1000058		入荷

印刷対象となる入荷伝票を選択したあと、

ボタンをクリックして下さい。

ダウンロードしたCSVファイルを、ラベル屋さん9の

「差し込み」→「読み込み」ボタンから取り込みます。

ラベル屋さん9の操作方法はラベル屋さん9マニュアルの「Step3:データの差し込みをしよう」ページの「3テキストファイルを読み込む」
をご参考にすすめてください。

取り込み用CSVデータを作成する際の注意点について

注意点1:

タグ発行用CSVダウンロードから出力されるCSVデータはデフォルト設定では、入荷伝票の明細行と同じ並びになっています。

例:商品A 10

しかしこれをラベル屋さんで取り込んでも、「商品A」が1個分しか印刷を行うことができません。

そこで、ラベル印刷用のCSVを取り出す際の設定として下記の手順で進んで下さい。

- 1, 管理機能>荷主>検索>荷主コードをクリックします。
- 2, 荷主:編集画面に入ります。画面最後にある「タグCSVを数量分展開」項目を「有効」にして登録ボタンをクリックして下さい。

注意点2:

CSVデータをEXCELで編集しますと、品番などの先頭桁に0が入っていれば省略されてしまいます。

例:01234 → 1234

このまま上書き保存をしますと、別の品番として認識しますので十分ご注意下さい。

注意点3:

CSVデータをEXCELで編集しますと、バーコード情報など長い数値の場合2E+12などと省略文字に変換されます。

このまま上書き保存をしますと、バーコード情報としては認識されませんのでご注意下さい。